

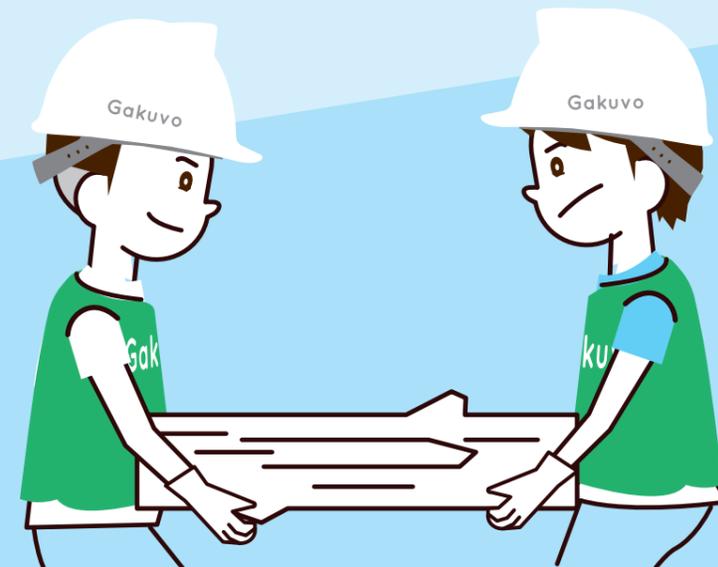
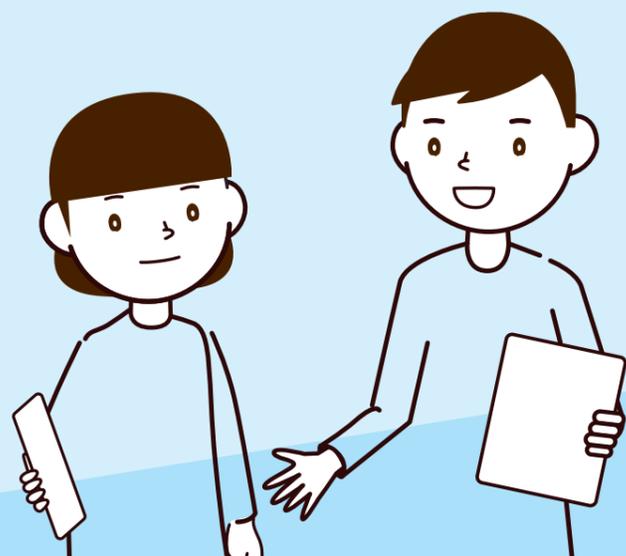


Supported by  日本財団 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

# Gakuvo

日本財団学生ボランティアセンター報告書

REPORT 2019



# Gakuvo

## とは・・・？

日本財団学生ボランティアセンター（通称 Gakuvo）は、全国規模で学生のボランティア活動を支援する希少な団体です。様々な社会課題が露呈してきている昨今、市民活動の必要性は日に日に高まってきています。これからの社会を担っていく若者が、学生のうちからボランティア活動に取り組むことで、社会課題を「他人事」ではなく「自分事」として捉え、課題解決のために行動する人材を育成していきます。



## Gakuvo 理念

- 学生のボランティア活動を支援します。
- 学生ボランティアのスキルアップを支援します。
- 自分の携わったボランティア体験を、広く社会に伝えていく力の育成を目指します。
- ボランティア活動をとおして、次世代を担う人材を育成します。
- 20年後の社会を見据えた活動を展開し、時代の「一歩先」を目指します。

## 代表挨拶

2019 annual report

当センターは、設立から10年目の活動を無事に終えることができました。

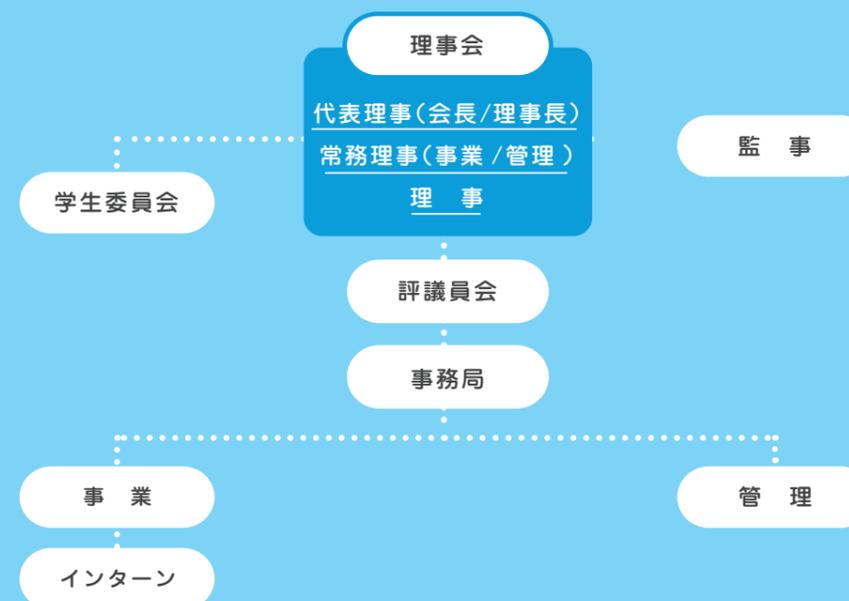
ここに至りましたのも、ひとえに皆様方のご支援・ご協力によるものと、厚く御礼申し上げます。

さて、これからの社会は、次世代を担う学生が行動し、考え、新たなネットワークを生みだし、若い力でソーシャルイノベーションを起こしていくことが求められます。そのためには、学生時代にボランティア活動へ参加し、高齢化・少子化や環境問題などの現状を知り、社会課題を見い出すことも重要でしょう。

当センターは、学生のボランティア活動が、深い学び・成長の場となるように、多様なプログラムを開発・実施してまいりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人 日本財団学生ボランティアセンター  
代表理事（会長） 小宮山 宏

## 組織図



# きっかけ

## 目次 - CONTENTS -

- 03 Gakuvo とは・・・? / Gakuvo 理念
- 04 代表挨拶 / 組織図
- 07 令和元年 災害ボランティア
- 09 チーム「ながぐつ」プロジェクト福島
- 11 プラチナ未来人財育成塾
- 13 大学等連携「大学コンソーシアム ひょうご神戸」
- 15 大学等連携「津田塾大学」
- 17 大学等連携「長崎大学」
- 19 Gakuvo Style Fund
- 21 ボランティア・シンポジウム
- 23 インターン
- 25 acare
- 26 学生委員会
- 27 2019 年度 Gakuvo 事業実績

研究室の  
とまりの席に  
ボランティアしてる  
人がいた

一年の時に  
なんもなく  
行った  
バトナム

部活を5つやめて、  
ぶつぎでつおひくまで  
自転車で関東制覇  
を目指した中で、人の  
交流をいれて、他の  
地域の人と交流  
したくなったから。

せっかく東北  
に行くので  
震災復興の  
ボランティアを  
したいと思った。

何か語れる  
エピソードが  
(ほしい!)  
積極性を  
もっていた。

大学の先輩に  
誘われた。  
元々、興味が  
あった。

大学生活に  
楽しみたい。  
人との  
価値観  
の違い

高1の時  
“何か人の為にしたいい”  
“被災地の現状を知り  
たい。” → 記者に  
インタビュー  
人の為に動ける、楽しい!

言語を学びたく  
大学の国際化  
プログラムに参加。

大学が  
東北の方だから  
ついでにやろう  
と思った。

先輩が  
イケメン  
だった

生徒会  
活動

部活の  
引退  
新しい世界  
をみたい

高校で講演などを  
きいて  
国際祭(保健  
に)興味があった。  
目的。

きっかけ  
東日本大震災  
大学のサークル  
印象  
やってる人少ない! 楽しかった!

ドキュメンタリー  
をみて、自分  
の頭で考え  
(想像)はじめてから

やってみたこと  
だったから。  
ゼミに入った  
ため。

海岸清掃  
(地元が相南)  
当たり前のように  
やっていた

新歓

視野を  
広げられた。  
東日本大震災

大学で何か  
新しいことを  
始めようと思った

就職に  
有利そう  
友達作りたかった

サークルが終わる  
タイミングで、研究室  
の先輩がボランティア  
の話を聞いて、  
とまこんでみたくなった。

# 令和元年 災害ボランティア



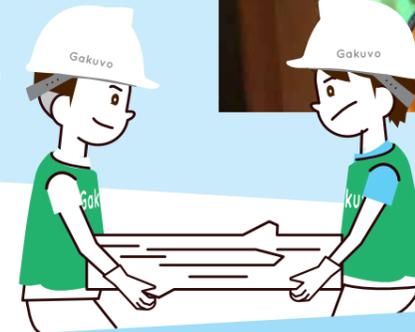
令和元年、日本国内の広範囲に及んだ水害。

被災地への派遣は、9月の佐賀県杵島郡大町町から始まった。それから2月まで、各地で現地の災害ボランティアセンターや支援に入っているNPO、近隣の大学などと調整し、学生ボランティアによる災害支援を実施した。活動内容は、泥かき、家屋清掃、家財や流木の撤去、ハウスの解体、写真洗浄など。

見えない誰かのためにと集まった学生、お世話になっている地域の方々のためにと部活やサークルからメンバーを募り集まった学生、近隣地域の方々のためにと動いた大学関係者と学生、過去に被災した時、ボランティアの方々から助けをもらい、今度は自分が誰かを助けたいと応募してくれた学生、被災された方々のために少しでも力になりたいと、延べ1,400人を超える学生が行動を起こした。

時が経つと忘れられていく過去の災害。支援はまだまだ終わらないと実感した学生たちの復興を願う想いをのせて、Gakuvoは支援を続ける。

支援をつなぐ、  
それぞれの想い。



# チーム「ながぐつ」 プロジェクト 福島



広範囲にわたった10月の台風 19 号と、同月25日の大雨により甚大な被害を受けた福島県。2011年3月11日に発災した東日本大震災では、地震、津波、原発事故、そして風評被害と4重苦を強いられた。9年経った今も帰還困難区域がある。当時、小学生または中学生だった現在の学生たちは、現実を目の当たりにして衝撃を受ける。いわき駅周辺の風景だけを見ると、日常と何ら変わりはない。しかし、現地の方々のお話を聞いて、心に残っているものに気づく。それらを通して、それぞれが感じたもの、考えたことを共有し、新たな気づきや深め合いを行うことで学ぶことがある。現地の方々やメンバーとの出会いも含め、この経験が次の行動を起こすきっかけとなしてほしい。

感じたこと、  
考えたこと、  
考えること、



# 学生チューターの派遣 プラチナ未来人財育成塾



今後の社会を担う中学生を対象としたプラチナ未来人財育成塾@二子玉川。そして地域への展開として、新たに始まったプラチナ森の学校きくち。学生チューターは仲間とともに、参加者の学びを深くするため、グループワークの進行をはじめとして中学生とコミュニケーションを図った。学生自身も講義や、成長する中学生を目の当たりにして、気づきを得た機会となった。

## プラチナ未来人財育成塾@二子玉川

日程：2019年8月4日(日)～8月8日(木)

場所：東京都市大学二子玉川夢キャンパス

宿泊：世田谷区立野毛青少年交流センター

人数：参加者…72名 学生チューター…24名

## プラチナ森の学校きくち

日程：2020年2月22日(土)～2月24日(月)

場所：熊本県立菊池少年自然の家

人数：参加者…40名 学生チューター…7名

未来を拓く学びの場、  
その軸を担って。



# 大学等連携

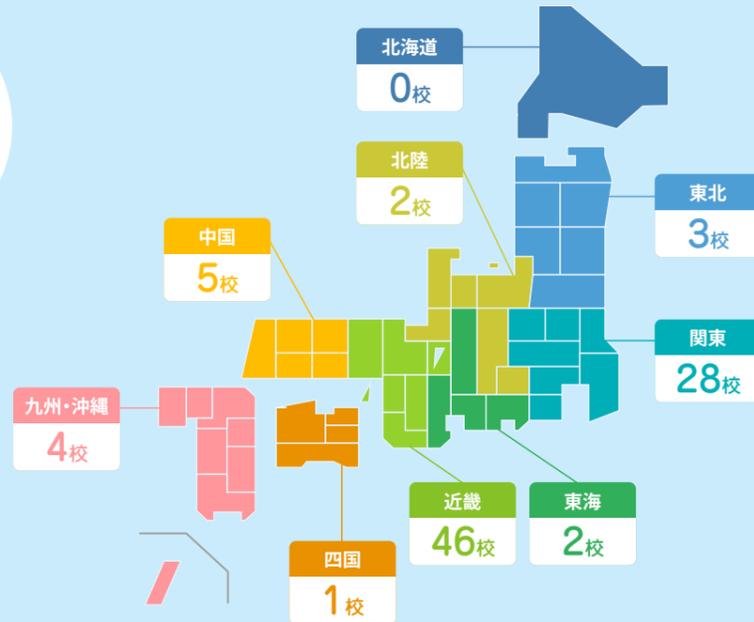
# 大学コンソーシアム ひょうご神戸

学ぶ、  
実践する。  
深める。

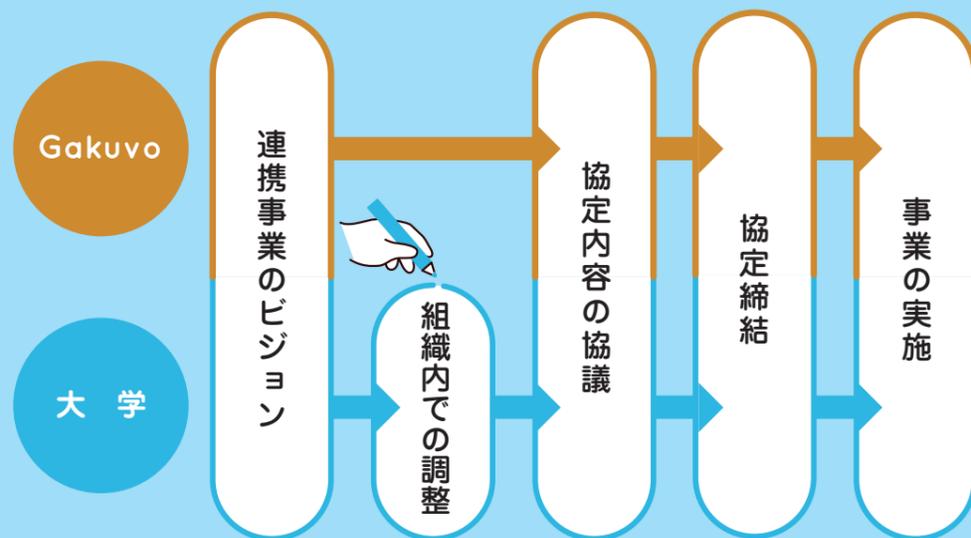
## Gakuvoと大学との協力関係

2020年1月1日  
時点での協定数

91校



## 協定までのながれ



大学コンソーシアムひょうご神戸は、Gakuvoと兵庫県と神戸市の社会福祉協議会が連携して、学生災害ボランティア・ネットワーク事業を進めた。8月に岡山県倉敷市真備町と宮城県名取市で、学生自身が考えた企画を実施することが一つのアウトプットである。ただし、活動までの過程を含めた学びを重要視するのが本事業。県内12大学の学生50名ほどが、5月から3か月間、座学やフィールドワーク、ミーティングを行った。阪神淡路大震災を経験した神戸市内の現場から、豪雨災害から5年目を迎えた丹波市の現場から、それぞれに知識と想いを受け取った学生たち。活動を経た9月の報告会では、成果とともに後悔や反省も共有された。学生たちは、活動して終わりではなく、これが始まりだと言っていた。



# 大学等連携 津田塾大学



津田塾大学は、Gakuvoと協働し、津田塾大学の学生が社会問題の解決のために自発的に結成したチームの活動を支援する「ブリッジ・ザ・ギャップ ボランティア創発プロジェクト」を実施した。採択団体の一つである「サディーク」は、日本ではイスラム教徒が食事をできる場所が少なく、外食を楽しめない、という声を聞いた学生が始めた団体である。イスラム教の戒律にのっとり調理されたハラールフードへの関心を高める方法として、イスラム教徒であるロヒンギャ族の女性が料理を教える料理教室を開催した。料理を共に作りながら、ロヒンギャ族の文化や現在置かれている状況などについてのお話も聞かされた。

ブリッジ・ザ・ギャップの特性の一つは、学生が自発的にプロジェクトを立ち上げ、企画や運営を行うところである。この過程を通じて、学生の成長を促した。



# 大学等連携 長崎大学



長崎大学の学部生のボランティア登録率は増加の一途であるが、登録はしたものの活動する学生の比率は、35%と低迷している。そんな中でGakuvoと協定を交わし、ボランティア活動へ一歩踏み出すためのボランティア体験バスを企画した。バスをチャーターして活動場所へ送迎すれば、「ボランティアへの一歩を踏み出す」学生が増え、併せて地域への貢献度も向上するものと期待したが、結果として多くの学生にとって学びの深い充実した体験となった。ここからは、自発的に踏み出すことを期待したい。



J2リーグ・V-ファーレン長崎の高田明社長（当時）の話を聞く機会や、他大学の学生との交流もでき、活動後のアンケートでは「ぜひ次回も参加したい」との回答が多かった。



生態系を維持するための棚田の役割や大水害からの保全のための機能、過疎地の集落維持のための地域の活動を知り、学生からは楽しく充実した活動であり、稲刈り・収穫祭時の火祭りにもぜひ参加したい、との声も挙がった。

# Gakuvo Style Fund



2014年に創設したGakuvo Style Fundは、学生らしいアイデアや取り組みによって社会問題を解決していくこと、また活動を通して学生自身が成長することに期待し、5年間で全209団体を支援してきた。

6年目を迎えたGakuvo Style Fund 2019では、一団体のみで活動するのではなく、他の学生ボランティア団体や企業、行政、NPOなどと協働し、さらに大きなインパクトを与えることができるプログラムを行う団体を募集し、5団体が採択された。2019年7月～9月に海外を含む各地で活動を行ない、12月には、Gakuvo「ボランティア・シンポジウム」にて、活動の成果を発表した。



共に行動し、  
フィールドを広げる。



団体名	活動場所	活動内容
アフリカ医療研究会	ザンビア	ストリートチルドレン保護施設での衛生教育と栄養教育のワークショップ
Japanesia	ミクロネシア	処理されずに残っている廃タイヤと現地の伝統的な刺繍を用いたサンダルづくり
東北大学 災害伝承プロジェクト もとさ	高知県須崎市	東日本大震災と向き合ってきた学生が、防災の知識を伝えるイベントを開催
インドネシアバリ島 支援団体 AI	インドネシア	ゴミ問題についての環境教育ワークショップ
ICT48	岩手県岩手郡葛巻町	子どもを対象とした ICT 教育

# ボランティア・シンポジウム



2019年12月7日～8日、東京都内にて、全国から学生たちが集まり、自分の体験したボランティアについての発表を行った。ボランティア・シンポジウムには、Gakuvo Style Fund採択団体の代表学生や、Gakuvoとの連携事業に参加した学生、また独自にボランティア活動を行なっている学生が集まり、活動の報告、学生団体ならではのやりがいや悩みとその解決策を共有した。

また、NPO法人good!の職員、青山聖氏をゲストとしてお招きし、学生時代に参加したボランティア活動と、その経験がどのように現在の仕事につながったのかというお話をいただいた。

ボランティア・シンポジウムで出会った参加者同士は、活動地域や分野が異なる中でも、同じ学生ボランティアという立場で活動しているからこそ共感できることが多く見付き、仲間意識の生まれた2日間となった。

次につなげる  
ための出会い





岩澤 了太



上野 聡子



清田 悠渡



鈴木 太一



関根 梨夏



友成 陽祐



保科 歩美



谷中 美渚

## インターン紹介

2019年度インターンは、学生のためのメディア「acare」の取材・記事作成や、ボランティア・シンポジウムの企画運営、また、大学に行き学生の前でボランティアについてお話しするなど、様々な活動を行った。

また、2019年は台風などの広範囲にわたる水害があり、災害支援のボランティアへも積極的に参加した。これらの活動を通して、お互いの意見を傾聴し合い、思いやりをもって自分の意見を発信することが大切だと学び、それと同時に、メンバーの新しい意見などから、様々な分野に目を向けることができた。

またその反面、全員が同じ熱量をもって活動することの難しさや、やりたいことも強い意思が無ければ「ただのやりたいこと」で終わってしまうということも痛感したようだ。

インターンを終えて、「チームをまとめて引っ張ることが出来る存在に成長したい。」「また企画運営に携わりたい。」など、一人ひとりが新たに目標を立ててスタートしていく。さらなる飛躍に期待したい。



# インターンがつくるWEBメディア acare

メディアを  
自分たちでつくる



本年度のコンセプトは「Compass」。ボランティアに関心を持った大学生が社会問題に対して行動を起こすきっかけを提供することを目指した。台風19号をはじめ、多くの自然災害に見舞われた2019年。年々激しさを増していく気候変動、異常気象。環境問題や、環境問題に取り組む団体を知ることが行動を起こすことにつながると考えたインターンは、取材を行い、記事を執筆した。一連のプロセスの中で、インターンたちは議論を重ね、学びを深めていった。

## 取材先

Bioworks株式会社

広報 三宅 禎輝氏

Fridays For Future Tokyo

秋山 知也氏、井上 寛人氏、  
酒井 功雄氏



# 学生委員会

学生中心の  
ガクボであり続けるため



理事会の諮問機関として学生委員会が始まって5期目。Gakuvoの運営のみならず、ミッションや事業の方向性にも、学生の意見を反映させるべく、6名の委員が知恵を絞った。

大学ボランティアセンター学生スタッフ、地方大学在籍者、留学生、Gakuvoプログラム参加者などで構成されている。5回の委員会を経て、理事会に報告書を提出。その中にはGakuvoへの提案として、Gakuvoの存在をもっと多くの学生に広めていくための具体的な対策や、災害などの非常時だけではなく、地域と密接に関わっていくボランティアを増やしていくために活動すべきという意見があった。Gakuvoは、学生委員会の提案を取り入れ、学生目線での活動を展開していく。



# 2019年度 Gakuvo 事業実績

	セミナー・シンポジウム事業/インターン事業ほか		学生ボランティア派遣事業		大学等連携事業		事業名・授業名		期間	回数	場所
		場所	陣数	場所							
4月	インターンキックオフミーティング	東京都			追手門学院大学	社会問題リサーチ演習 1A	～8月	14回	大阪府		
	インターン合宿	東京都			聖学院大学	ボランティア体験の言語化技法と実践	～7月	15回	埼玉県		
5月	第5回Gakuvo Style Fund活動報告会 監事監査	東京都 東京都	チーム「ながぐつ」プロジェクト	194	福島県	青山学院大学	ボランティアセンター学生スタッフ研修	2日間	1回	東京都	
			チーム「ながぐつ」プロジェクト	195	福島県	神田外語大学	ボランティア入門講座		2回	福島県	
						聖心女子大学	USHひとつくり・まちづくりボランティアin南相馬	3日間	1回	福島県	
						千葉大学	持続的・地域貢献活動実習 実習	2日間	1回	千葉県	
						中央大学	東北関連プロジェクト コミュニティ支援活動	3日間	1回	宮城県	
						中央大学	チームくまもと スタディツアー	2日間	1回	熊本県	
						東北福祉大学	まちづくり論 実習	1日	1回	宮城県	
						長崎大学	ボランティアバス(地元サッカーチーム、棚田)	1日	2回	宮城県	
6月	Gakuvo Style Fund 2019 審査会 第16回理事会 第1回学生委員会 第8回評議員会	東京都 東京都 東京都 東京都	チーム「ながぐつ」プロジェクト	196	福島県	追手門学院大学	長島愛生園におけるフィールド・スタディ	1日	1回	埼玉県	
			チーム「ながぐつ」プロジェクト	197	福島県	聖学院大学	釜石学における講師派遣	2日間	1回	福島県	
			プラチナ未来人材育成塾@二子玉川チューター第1回研修		東京都	聖心女子大学	グローバル共生VII(地域コミュニティにおける課題解決プロジェクト)実習	2日間	1回	福島県	
						聖心女子大学	USHひとつくり・まちづくりボランティアin南相馬	～7月	8回	千葉県	
						千葉大学	学生ボランティア実践入門	2日間	1回	千葉県	
						千葉大学	持続的・地域貢献活動実習 実習	2日間	1回	宮城県	
						東北大学	ペイラー大学とのプロジェクト「Humans of Minamisanriku」	2日間	1回	宮城県	
						東北大学	ボランティア団体合同研修	1日	1回	福島県	
						東北福祉大学	まちづくり論 実習				
7月	第17回理事会		プラチナ未来人材育成塾@二子玉川チューター第2回研修		東京都	熊本大学	「学生ボランティア活動推進に関する協定書」を締結				
						千葉大学	学生ボランティア実践入門 実習	1日	1回	千葉県	
8月	第2回学生委員会	東京都	チーム「ながぐつ」プロジェクト	198	福島県	追手門学院大学	普代村・村づくり支援プロジェクト	9日間	1回	岩手県	
			プラチナ未来人材育成塾@二子玉川へのチューター派遣		東京都	聖心女子大学	USHひとつくり・まちづくりボランティアin南相馬	3日間	1回	福島県	
						摂南大学	ボランティア活動	5日間	11回	岩手県、和歌山県	
						中央大学	東北関連プロジェクト コミュニティ支援活動	11日	2回	岩手県	
						東北大学	「子どもの貧困問題解決に向けた取り組みに学ぶボランティア」事前研修	1日	1回	宮城県	
						法政大学	熊本被災地ボランティア	4日間	1回	熊本県	
						立教大学	RSLープロジェクト・プランニング 実習	14日間	1回	インドネシア	
9月			チーム「ながぐつ」プロジェクト	199	福島県	聖心女子大学	ボランティア体験の振り返り	～1月	15回	東京都	
			チーム「ながぐつ」プロジェクト	200	福島県	聖心女子大学	SHOCprojectスタディツアー 実施	2日間	1回	福島県	
			令和元年九州8月豪雨ボランティア	1	佐賀県	聖心女子大学	USHひとつくり・まちづくりボランティアin南相馬	3日間	1回	福島県	
						中央大学	東北関連プロジェクト コミュニティ支援活動	6日間	1回	岩手県	
						中央大学	東北関連プロジェクト コミュニティ支援活動	8日間	2回	宮城県	
						中央大学	チームくまもと スタディツアー	4日間	1回	熊本県	
						東北大学	東日本大震災の経験を地方創生の課題と結ぶ波板地区ボランティアツアー	2日間	1回	宮城県	
						東北福祉大学	社会貢献論	～1月	15回	宮城県	
10月			令和元年台風15号/19号ボランティア関東	1	千葉県	茨城大学	「学生ボランティア活動推進に関する協定書」を締結				
			令和元年台風15号/19号ボランティア関東	2	千葉県	茨城大学	令和元年台風19号ボランティア活動	4日間	1回	茨城県	
			令和元年台風15号/19号ボランティア関東	3	栃木県	中央大学	現代社会分析II 実習	2日間	1回	宮城県	
			令和元年台風15号/19号ボランティア関東	4	栃木県	東北大学	震災伝承部×正課授業コラボツアー	2日間	1回	宮城県	
						東北大学	正課授業(後期)オムニバス講義「東日本大震災からみる現代社会」	～12月	4回	宮城県	
11月	第3回学生委員会	東京都	令和元年台風15号/19号ボランティア関東	5	栃木県	愛知淑徳大学	「にじいろ☆キャン」	2日間	1回	岐阜県	
			令和元年台風15号/19号ボランティア関東	6	栃木県	聖心女子大学	USHひとつくり・まちづくりボランティアin南相馬	2日間	1回	福島県	
			令和元年台風15号/19号ボランティア関東	7	千葉県	中央大学	チームくまもと スタディツアー	2日間	1回	熊本県	
			令和元年台風15号/19号ボランティア関東	8	千葉県	津田塾大学	ブリッジ・ザ・ギャップ ボランティア創発プロジェクト	～1月	2回	東京都	
			令和元年台風15号/19号ボランティア関東	9	栃木県	東北大学	東日本大震災の経験を地方創生の課題と結ぶ波板地区交流ツアー	2日間	1回	宮城県	
			令和元年台風15号/19号ボランティア関東	10	栃木県	東北大学	東日本大震災の経験を海外の学生につたえる南三陸ツアー	2日間	1回	宮城県	
			令和元年台風15号/19号ボランティア関東	11	千葉県	東北福祉大学	令和元年台風19号ボランティア	5日間	5回	宮城県	
			令和元年台風15号/19号ボランティア関東	12	千葉県	常葉大学	台風19号災害復旧ボランティアに関する覚書を締結				
			令和元年台風15号/19号ボランティア関東	13	栃木県	常葉大学	令和元年台風15号/19号ボランティア活動	1日	1回	長野県	
			令和元年台風19号ボランティア福島	1	福島県	福山市立大学	専門演習II 実習	3日間	1回	京都府	
12月	ボランティア・シンポジウム	東京都	令和元年台風15号/19号ボランティア関東	14	茨城県	聖心女子大学	USHひとつくり・まちづくりボランティアin南相馬	2日間	1回	福島県	
			令和元年台風19号ボランティア福島	3	福島県	東北大学	令和元年台風19号ボランティア活動	～2月	22回	宮城県	
			令和元年台風19号ボランティア福島	4	福島県	東北大学	令和元年台風19号ボランティア活動	2日間	1回	福島県	
			令和元年台風19号ボランティア福島	A2	福島県	常葉大学	「学生ボランティア活動推進に関する協定書」を締結				
			令和元年台風19号ボランティア宮城	1	宮城県	宮城学院女子大学	台風19号災害復旧ボランティアに関する覚書を締結				
			令和元年台風19号ボランティア宮城	2	宮城県						
			令和元年台風19号ボランティア宮城	3	宮城県						
			令和元年台風19号ボランティア宮城	4	宮城県						
			プラチナ「森の学校・きくち」チューター研修		熊本県						
1月			令和元年台風19号ボランティア福島	5	福島県	中央大学	現代社会分析II 実習	2日間	1回	宮城県	
			令和元年台風19号ボランティア宮城	5	宮城県	東北大学	課外・ボランティア活動研修会「学生団体の組織運営」	1日	1回	宮城県	
2月	第4回学生委員会 第5回学生委員会	東京都 東京都	令和元年台風19号ボランティア宮城	6	宮城県	熊本学園大学	災害ボランティアスキルアップセミナー	1日	1回	熊本県	
			令和元年台風15号/19号ボランティア関東	B1	千葉県	熊本学園大学	佐賀県における災害ボランティア活動	1日	1回	佐賀県	
			令和元年台風19号ボランティア福島	A3	福島県	聖心女子大学	USHひとつくり・まちづくりボランティアin南相馬	3日間	1回	福島県	
			令和元年台風19号ボランティア宮城	7	宮城県	中央大学	東北関連プロジェクト コミュニティ支援活動	6日間	1回	岩手県	
			令和元年台風19号ボランティア福島	A4	福島県	東北大学	気仙沼陸前高田スタディツアー	2日間	1回	宮城県	
			令和元年台風19号ボランティア福島	6	福島県						
			令和元年台風19号ボランティア宮城	8	宮城県						
			プラチナ「森の学校・きくち」へのチューター派遣		熊本県						
3月	第18回理事会 PR力コンテスト「V-1」審査委員会 webメディア「acare(アカー)」特集公開	東京都				聖心女子大学	グローバル共生VII(地域コミュニティにおける課題解決プロジェクト)実習	2日間	1回	福島県	
						東日本国際大学	「学生ボランティア活動推進に関する協定書」を締結				